

湖南省かわら版

2026年
5月号

人の絆がたからもの



↑3月末に誘客経済促進センター新旧所長の歓送迎会に集まってくださった赴日研修生会を中心とした皆さん。滋賀県で交流したことのある思い出の人もいるかも？

中国に在留する日本人は、昨年データで約9万3千人。内、上海が最も多く3万人以上、北京・広州・深センなどの都市で数千人の日本人が生活しています。では、人口約6千5百万人の湖南省に住む日本人の数は？ 答えは約五〇人。日本人の数は少ないけれど、湖南省には滋賀県の応援団がいます。その代表格が赴

日研修生会の皆さん。かつて、日本の技術やサービスなどを学ぶために二百人を超える湖南省の皆さんが滋賀県で研修を受けていました。滋賀県内の企業、病院、大学などで受け入れ、多くの交流の物語を紡ぎ、友情を育んできました。この研修生の皆さんは、滋賀県と湖南省の絆を今でも支えてくれています。

今月のよんこま

ある日の1枚



中国での生活がより良きものであるように、とプレゼントされたお守りです。中国ではひょうたんは「葫芦」と言い、幸福を意味する

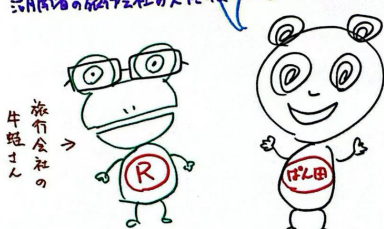
それぞれの国の発音を由来として、ひょうたんが縁起の良いものとされているのは面白いですね。

スマホで過去の写真を見ていてビックリ！なんと、私ばんだは7年前に長沙に来た。



※プライベートで张家界に旅行に行つた際に立ち寄った。覚えていた自分が一番驚く。せうかたのど、全く同じ構図で写真を撮った。

このことを湖南省の旅行会社の人に伝えたい...



なんと7年前、それは牛短さんの会社の写真で、しかもその時のガイドさんがばんだのことを覚えていた、とのこと。

滋賀県民
だったから。



滋賀県と湖南省の交流の時に必ずお世話になっている旅行会社の方は、私たち滋賀県民が思っている以上に、滋賀県のことをよく知り、

湖南省に来たら、ぜひ「滋賀県民」と胸を張って名乗ってください！